



実験室の地震対策チェックリスト

監修：中山 穰（横浜国立大学総合学術高等研究院）

大きな揺れに備え、実験室でできる地震対策をリストアップしました。ぜひ、印刷のうえご活用ください。揺れの様子は震源地や地震の規模、建物の強度や階数、地盤などによって異なり、これらをすべて実施しても万全の備えとはいえませんが、より安心して研究活動を行うための対策の一助となれば幸いです。

地震に備える行動・習慣

整理整頓の習慣はついているか？

- ☐ 避難場所（廊下など）を決め、物を置かないようにしている
- ☐ 逃げ道を断つことがないように、通路際の物の配置を工夫している
- ☐ 棚の上が不要物の置き場にならないように心がけている
- ☐ 読まなくなった本や雑誌など、不要な可燃物を置かないようにしている
- ☐ 紙媒体はファイリングキャビネットに保管している
- ☐ データのバックアップは研究室以外の場所にも置いてある



実験時に気をつける事柄を周知してあるか？

- ☐ 合成実験はできるだけスタンドを使わず、フレームにつないで行っている
- ☐ 実験台の上に、ガラス器具や試薬を放置しないようにしている
- ☐ やむをえず実験台にガラス器具や試薬を置く場合は、落下しにくいように実験台の奥に置いている

震災時、速やかに行動できるか？

- ☐ 研究室メンバー全員が避難ルートと集合場所を知っている
- ☐ 消火器・消火栓の置き場所と使い方を知っている
- ☐ 実験室で揺れを感じたら、まず行うべき事柄を決めてある
(電気・ガスを止める、ポンペを閉める、廃液タンクのフタを閉める、避難時に火事を想定して窓を閉める、など)
- ☐ 関連分野や近隣の研究室・教職員と、非常時の対応について打合せてある
- ☐ 消防署への連絡方法を考えてある
(最寄りの消防署の連絡先の把握、研究室の入っている建物の位置や階数の説明の仕方など)
- ☐ ヘルメットや懐中電灯、非常用の水分や食料を必要数だけ常備している
- ☐ 研究室メンバーの緊急時の連絡先を把握している
- ☐ 緊急地震速報が有効になっている
- ☐ 避難後、不用意に実験室へ戻るのは危険であることを理解している



震災対策を維持する努力を行っているか？

- ☐ 避難訓練と定期点検を行う体制ができている
- ☐ 震災を自分に起こる出来事として常に危機意識をもっている

実験室での地震対策

試薬は適切に管理されているか？

- ☐ 試薬瓶を仕切りのあるトレーに入れたり、保護ネットをかぶせたりして割れにくくしている
- ☐ 試薬棚には落下防止柵を設置している
- ☐ 発火性の試薬や混触発火のおそれのある試薬の組合わせに気をつけて試薬の置き場所を決めている
- ☐ 重い試薬や危険な試薬は試薬棚の下段やドラフトの下に置いている
- ☐ 新たに試薬棚を購入する場合は、奥行きのある背の低いもので、上下に分かれていないもの、扉は自動ロックのかかるものがよいと理解している
- ☐ 試薬の在庫量は適切である

棚や大型実験用品の固定は徹底しているか？

- ☐ 棚や冷蔵庫は壁に寄せて配置している
- ☐ 棚や冷蔵庫、ドラフト、実験台などは互いに連結せず個別に、床と壁に数箇所固定している
- ☐ 可能な場所では、ボルトやベルトを用いて固定を行っている
- ☐ ホースなどでつながれたエバポレーターなどは、ホースの長さに遊びをもたせている
- ☐ 扉や引き出しにはストッパーや自動ロックがついている
- ☐ ガラスの扉にはガラス飛散防止用フィルムを貼ってある
- ☐ 重い物を下に置き、重心を下げる工夫がされている

機器類を守るための工夫はされているか？

- ☐ 小型機器に落下防止策を施してある
(実験台上にでっぱりを施す、機器自体を実験台やフレームに固定する、耐震ジェルマットを利用する、など)
- ☐ 大型機器は床に固定し、できるだけ低層階へ置いている
- ☐ 機器の周囲上部に落下しそうな物や倒れやすい棚を置いていない

ポンペは安全に固定されているか？

- ☐ 1本ずつ固定している
- ☐ ポンペ支持台はボルトなどで床に固定している
- ☐ チェーンは隙間ができないよう、少なくとも上下二重にかけている
- ☐ フック類はステンレス製のものをしている
- ☐ 機器類にポンペをつなぐ場合、機器とポンペをつなぐチューブに数メートルの遊びをもたせている
- ☐ ポンペを使用していないときは、転がらないように固定し、寝かせて保管している
- ☐ ポンペの交換後、チェーンがきちんとかかっているか、適切な大きさのポンペが置かれているか確認している
- ☐ 支持台やチェーン、フックの錆防止や交換などのメンテナンスを定期的に行っている

